

# インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) アトミガクエンジョンダイガク	フリガナ) マネジメントガクブ	フリガナ) ヤマサワゼミ
跡見学園女子大学	マネジメント学部	山澤ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ヤマサワゼミ A	フリガナ) ヨシダシズカ	4	無	無
山澤ゼミ A	吉田静夏			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

特になし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

ブライダル業界活性化戦略

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

現在、日本の婚姻率は約 63 万組と 1972 年の過去最高婚姻件数 100 万組から大幅に下がっていることが内閣府の婚姻率の推測により分かりました。更に、日本では少子化が進んでいるため今後も婚姻率は下がる予想ができます。

また、時間と金銭が足りないなどという理由から結婚式を挙げずに婚姻する夫婦が増加しています。その事を『ナン婚』と言います。結婚式を挙げずに婚姻する夫婦は全国で 63 万組中 35 万組という結果が内閣府の婚姻率の推測と Wikipedia により判明致し、約半数の夫婦が結婚式を挙げていないことが分かりました。

ナン婚の場合は『お金がかからず、結婚式の準備に終われず有意義に新生活を過ごせる』などメリットはあります。

しかし、ナン婚の場合、親族、友人など沢山の人の前で夫婦のスタートを披露しない事によって結婚した自覚を持つことができず、結婚の区切りが曖昧に感じてしまいます。

その為、紙切れ一枚で終わってしまう関係、結婚式をした思い出がないため、安易に離婚への道を考えてしまうケースが多くみられます。

また、個別に親戚や友人に結婚の挨拶に伺わなくてはなりません。その為、挨拶の手間と時間がかかる二点がナシ婚のデメリットです。

このまま日本国内の婚姻率が減少し、今後結婚式を挙げない夫婦が増加する事を考えると、ブライダル業界の業績は悪化する見込みがあります。

そこで私たちは、ブライダル事業活性化戦略と題して、ブライダル業界を活性化させる案を提案させていただきたいと思います。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在のように結婚式を挙げる風習が一般的になったのは明治時代の中程になります。時代が昭和になると結婚式の会場やスタイルも多様化していきます。現在では、昔と変わらないホテルや専門式場だけでなく、ゲストハウスやレストランを貸し切って会費制のウエディングなど結婚式スタイルはたくさん増えていきました。

バブル経済の時期には結婚式や披露宴に金額をかけるカップルが多かったが、一時、「スマ婚」のCMが話題となりましたが、今では資金不足である夫婦でも結婚式を挙げることができるプランをたくさんブライダル業界は用意しているのです。

しかし、概要にも説明した通り『ナシ婚』という言葉が生まれてしまうほど、新婚夫婦の結婚式離れが現状としてあるのです。

## 3. 研究テーマの課題

インターネット調査によって得たアンケート結果を元にどのような結婚式が求められているか夫婦の目線に立って考えます。一組でも多くの夫婦に結婚式を挙げたい。と思ってもらえるサービスを提案し、ナシ婚減少を目指し、幸せな結婚式を挙げて頂くこと。そして、ブライダル業界を活性化させることが研究テーマの課題です。

## 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

アンケートや現在の結婚式の現状をもとに私たちが現代社会に合う結婚式の提案をいたしました。youtubeでの動画配信、アプリケーション内でのドラマ配信など、ネット社会に進出している今、ネットを利用して新しい結婚式はないかと考え、「ネット配信結婚式」を提案いたします。アンケート結果で結婚式を挙げたくない方の、「費用がかかる」、「恥ずかしい」などの意見をもとに低コストで済むように式場には来場者を少人数にして、ネット内で結婚式の様子をリアルタイムで発信するようにします。よって、来場者が多く訪れる結婚式ですが、人数を厳選することで食事の費用削減や羞恥心を感じることなく幸せなムードを味わえると考えました。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

まず私たちは、未婚者向けと既婚者向けに2種類のアンケートで調査を実施しました。未婚者には結婚式に対する興味を図るもの、既婚者には結婚式を挙げたかどうか、さらに挙げたと答えた方には結婚式を挙げてよかったかどうかという満足度を調査しました。

未婚者に調査したアンケートの結果より『結婚式をあげたくない』と答えた方の理由として『お金がかかる』というものが多かったのです。また、既婚者に調査したアンケートにおいて『結婚式を挙げてよかったですか』という質問に『いいえ』と答えた方の理由として『お金の無駄だった』という意見もありました。

### <アンケート結果概要>

未婚者(インターネット調査):245人にアンケートを実施

・結婚式を挙げたいかどうか(回答者:245人): 挙げたくない26人、挙げたい219人

既婚者(インターネット調査):90人にアンケートを実施

・結婚式を挙げたかどうか(回答者:90人): 挙げてない10人、挙げた80人

・結婚式を挙げてよかったか?(回答者90人): はい86人、いいえ4人

研究テーマの現状分析とこれらの活動をもとに、私たちは新しい結婚式のスタイルを提案します。

## 6. 結果や今後の取り組み

今後において結婚式が減少していくと、離婚率も高まるとわかり少子化が進んでいる中、子孫繁栄にも繋がってくる問題だと思い

ます。結婚式を活性化させていくことで、離婚率の低下を考えもっとブライダル業界を盛り上げるべく、現代社会にあったウェディングを新しく取り入れていくことが必要と考えました。

## 7. 参考文献

婚姻率の推測\_内閣府(<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2017/29pdfhonpen/pdf/s1-2.pdf>)

Wikipedia ナシ婚(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8A%E3%82%B7%E5%A9%9A>)

業界動向 SEARCH.COM(<https://gyokai-search.com/3-bridal.html>)

ぐるなび WEDDING 結婚式(<https://wedding.gnavi.co.jp/money/souba/>)

ゼクシィ結婚トレンド調査 2017([http://bridal-](http://bridal-souken.net/data/trend2017/XY_MT17_report_06shutoken.pdf)

[souken.net/data/trend2017/XY\\_MT17\\_report\\_06shutoken.pdf](http://bridal-souken.net/data/trend2017/XY_MT17_report_06shutoken.pdf))

ゼロ婚(<http://zerokon-tokyo.net/>)

スマ婚(<https://smakon.jp/>)

楽婚(<https://www.rakukon.com/>)

今婚(<http://www.imakon.co.jp/>)

『ブライダルコーディネーターになるには』(著者:浅野恵子 発行所:株式会社ペリかん社 初版発行:2006年3月10日)

『損しない&後悔しない結婚式を叶えるコツ 151』(出版社:晋遊舎 発行日:2018年4月20日)

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**